

QRA と RBI、選択と集中によるリスク低減方法の提案

(産業・化学機械と安全部門 企画)

開催日 2014年3月3日(月) 18.30~20.00

会場 キャンパス・イノベーションセンター東京 204号室

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

<http://www.cictokyo.jp/access.html>

趣旨 当部門は機械学会の中でも、とりわけ横断的色彩が濃い部門である。対象は、建設機械、農業機械、食品(加工)機械など、多くの産業機械関連分野、そして、化学装置、化学プラント等、化学製品製造に関わる化学機械関連分野である。当部門はこの特長を生かし、多種多様な関連産業に共通する課題を見だし、情報の共有化、情報の発信をしていくことを使命と考えている。その一つとして「安全」を取り上げている。

また、関連する機械が多種多様であることから、社会で実務経験を有する技術者も多彩であることを示している。今日のように複雑化した機械技術においては、各技術者が専門とする技術のみでは解決できない場合も多々あると考える。複数の技術の融合により、より高度な技術に発展していく可能性がある。そのためには、情報収集と懇談の場を提供する必要があると考えて、本企画を計画した。今後も定期的を開催していく予定である。

講演要旨 化学プラントの労働安全を含まない安全の取組は多種多様であるが、その科学的根拠や安全確保のためのシステムに合理性が少ない場合があり、事故を再発させるケースが多い。その防止のためには、設備の火災爆発リスクを定量化し、優先順位の高いものから選択し、真正面からその設備劣化や燃焼・爆発メカニズムを解明し、防止する手段を継続する以外に有効な方法はない。本セミナーでは、安全管理手法であるQRA(Quantitative Risk Assessment)とRBI(Risk Based Inspection)手法を概説するとともに、それらに欠けているリスクの潜在箇所の把握や設備劣化予測のためのマニュアル(Technical Module)の必要性を事例とともに述べ、今後のリスク低減の課題を浮き彫りにし、そのための方策を議論する。

講師 松田 宏康

三井化学 環境・安全企画管理部 主席部員

定員 30名

参加費 正員：1,000円 会員外：2,000円 学生員：無料 一般学生：500円

(当日会場にて申し受けます)

申込方法 「第32回トワイライトセミナー申込み」と題記し、(1)氏名、(2)会員資格、(3)勤務先・所属部課名・役職名、(4)連絡先(郵便番号・住所・電話番号・FAX・E-mailアドレス)を明記の上、E-mail または FAX にて下記までお申し込み下さい。

申込先 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5階 日本機械学会産業・化学機械と安全部門(担当職員 渡邊) / 電話(03)5360-3504 / FAX(03)5360-3508 / E-mail : watanabe@jsme.or.jp